



2022年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

大学院看護学研究科修士課程

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2. 授業改善アンケート質問項目一覧	【演習】		4
3. 授業改善アンケート質問項目一覧	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 教員からのコメント一覧	【講義】		7
6. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		11
7. 教員からのコメント一覧	【演習】		12
8. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】		13
9. 教員からのコメント一覧	【実習】		14

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	教員が提示した文献・資料などは学習を進めるのに役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員の説明や発問、意見交換の促し方 / ファシリテートの仕方は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	課題提示の方法は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容や範囲は適切であった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業分野に関する基本的概念や新たな知見や考え方などを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	授業に参加してさらに当該科目への興味をもち、深く学びたいと思った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配布資料等で示されていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	授業の進行速度は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員は院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は大学院生の反応や意見、質問に適切に対応した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	あなたは授業に意欲的/ 主体的・積極的に取り組みましたか(自分のプレゼンテーションを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	あなたは他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができましたか。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	あなたは、事前学習・事後学習をして取り組みましたか。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	この授業に対して、どのような問題意識や期待をもっていたか、聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
18	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

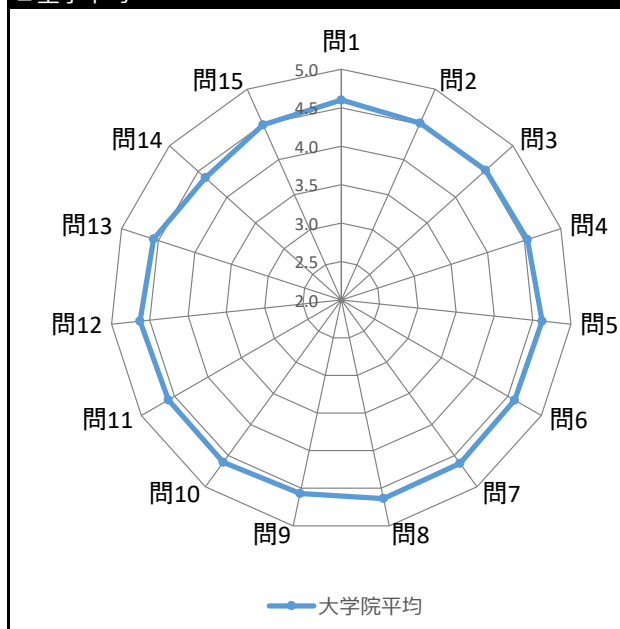
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

大 学 院		履修者数	285	回答率	
		紙	218	76%	76%
	回答数	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	教員が提示した文献・資料などは学習を進めるのに役立った。	135	79					4.60
2	教員の説明や発問、意見交換の促し方 / ファシリテートの仕方は適切だった。	128	77	11				4.52
3	課題提示の方法は適切だった。	130	76	9				4.52
4	授業の内容や範囲は適切であった。	131	76	9				4.54
5	授業分野に関する基本的概念や新たな知見や考え方などを深めることができた。	143	68	7				4.62
6	授業に参加してさらに当該科目への興味をもち、深く学びたいと思った。	142	66	9				4.60
7	授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配布資料等で示されていた。	143	70					4.62
8	授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	144	70					4.64
9	授業の進行速度は適切だった。	139	68	8				4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	140	70	8				4.61
11	教員は院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わっていた。	143	62	12				4.59
12	教員は大学院生の反応や意見、質問に適切に対応した。	148	60	9				4.63
13	あなたは授業に意欲的/主体的・積極的に取り組みましたか(自分のプレゼンテーションを含む)。	131	81					4.56
14	あなたは他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができましたか。	119	71	20	7			4.38
15	あなたは、事前学習・事後学習をして取り組みましたか。	124	76	17				4.49
問1～15全問平均								4.57

■全学平均

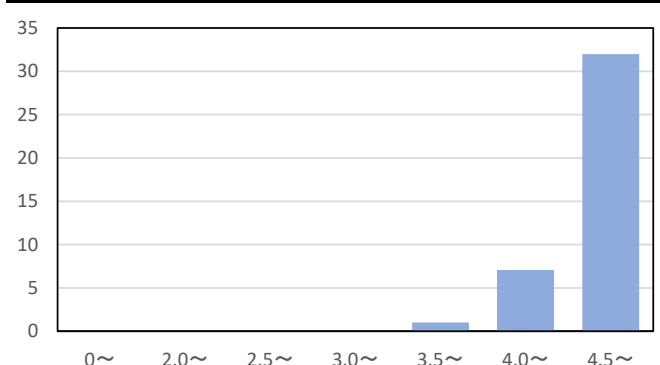


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■問5 (授業分野に関する知見や考え方) の全科目得点分布



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
M00102	基礎看護学特講Ⅱ	川原 由佳里 細野 知子	評価をありがとうございました。難読書ではありますが、ディスカッションを通じて理解を深め、議論ができました。粘り強く考えていく姿勢を身につけるきっかけになればと思います。
M00104	基礎看護学特講Ⅳ	川原 由佳里 細野 知子	保健医療福祉制度について文献から学んでいます。テーマの偏りがないように計画していきたいと思います。
M00204	がん看護学特講Ⅳ	吉田 みつ子	受講者が2名でしたので、毎回の授業のプレゼンテーションが大変だったと思いますが、それぞれの臨床での経験を踏まえつつ、新たな視点でがんサバイバーの支援について学ぶ機会となりました。ありがとうございました。
M00205	がん看護学特講Ⅴ	吉田 みつ子	こちらも受講生が2名と少なかったため、授業のプレゼンテーションの準備など、大変だったと思います。テキストの内容にとどまらず、それぞれに関心を広げて調べ、ディスカッションできたと思います。ありがとうございました。
M00401	成人看護学特講Ⅰ	本庄 恵子	授業アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございます。演習形式の授業が効果的なようですので、継続していきたいと思います。
M00503	クリティカルケア看護学特講Ⅲ	三浦 英恵	クリティカル期にある人々とその家族の衝撃的な体験とその反応について理解するために、理論を活用した事例検討やディスカッションを通じて、新しい発見や知識の獲得につながったことが伺えました。プレゼンが多く大変だったという感想もいただきましたが、CNSとして伝える訓練として必要とも意味づけて下さり、みなさんの力につながるように、支援していきたいと思います。
M00504	クリティカルケア看護学特講Ⅳ	三浦 英恵	クリティカル期にある人々とその家族の選択や尊厳について理解し、倫理的問題を解決するための援助方策について、事例検討を中心にディスカッションを通して学びを深め、新たな視点が得られたことが伺えました。今後も、ディスカッションが深められるように、ファシリテートなども工夫していきたいと思います。
M00603	慢性看護学特講Ⅲ	本庄 恵子	授業改善アンケートへの協力をありがとうございました。本科目は、さまざまな変化する時期に対応した慢性病の予防、診断・治療にともなう専門的看護支援、自己管理支援などに関する理論、支援技術と評価方法について学ぶことを目的としています。アンケート結果から、受講生の皆さんが主体的に授業に取り組まれ、授業分野に関する基本的概念や新たな知見について学びを深め、プレゼンテーションや議論をふまえてさらに学びを進化させていく意欲へとつながったことが伝わりました。授業改善アンケートの結果は、今後の授業運営にいかしてまいります。
M00604	慢性看護学特講Ⅳ	本庄 恵子	授業改善アンケートへの協力をありがとうございました。本科目は、慢性病をもつ人に適用される医療福祉の制度や体制とその革新的方策を学ぶことを目的としています。アンケート結果から、プレゼンテーションや議論によって、医療福祉制度を多角的に学ばれたことが伝わりました。制度について理解を深め、革新的方略を検討するプロセスは、これからの皆さんの活動につながると思います。授業改善アンケートの結果は、今後の授業運営にいかしてまいります。
M00703	老年看護学特講Ⅲ	千葉 京子	授業に積極的に参加いただきありがとうございました。複雑な健康問題を抱える高齢者やその家族を対象に、各自の価値観や倫理的・臨床的な看護判断と大学院での学びを活用し、プレゼンテーションして頂けました。受講者全員がよりよい看護援助とは何かを探究していく時間を創り出して頂けたと思います。プレゼンテーション資料に創意工夫がみられたこと、ディスカッションが豊かであったこと等、有意義な授業内容となったことを感謝致します。
M00704	老年看護学特講Ⅳ	坂口 千鶴	高い評価、また貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。今後も皆様の興味関心が高まり、学びとなるテーマで新しい知識も取り入れながら講義を進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
M00803	精神保健看護学特講Ⅲ	鷹野 朋実	アンケートへの回答ありがとうございました。フィールドワーク、フィールドノートについて学ぶ中で、これから履修する精神保健看護学実習に向けて、自身の課題を明確化するなどの準備の機会になったことを嬉しく思いました。唯一、就労しながらの学修という影響もあるのか、フィールドノート記載練習が十分に行えていなかったことが少し残念でした。そのことが、授業における自己評価がやや低値となっていることに影響したのだろうと判断いたしました。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
M00903	地域・在宅看護学特講Ⅲ	吉川 悦子	授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございます。概ね高い評価で、皆さんに概念分析や理論モデルなど、今後の研究につながるヒントを得ることができたのではないかと考えています。いただいた意見を参考に、さらなる改善へとつなげていきたいと思います。
M01003	看護教育学特講Ⅲ	西田 朋子	現任教育について考えることができた、わかりやすかった、など概ね良い評価をいただきました。キャリアと成人学習の両者について扱うため、もう少し時間が欲しいというご意見もいただきました。皆さんのレディネスや希望をふまえながら、進め方や内容を検討していきよりよい授業としていきます。
M01004	看護教育学特講Ⅳ	佐々木 幾美	業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。少し内容が難しかったという意見がありましたので、助言や支援を考慮したいと考えます。今後も、大学院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わって、質問にも適切に対応するように心がけていきたいと考えております。
M01005	看護教育学特講Ⅴ	佐々木 幾美 西田 朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。プレゼンテーションを担当しての学びが大きかったという意見が多かったです。複数名でのプレゼンテーション分担の難しさが出されましたので、相談できる体制を整えるようにして、履修者同士でどのように相談しながら進めるか、文献等をどのように探索するのかを学ぶ機会にしたいと考えています。次年度はその点を考慮しつつ、同様の内容と方法で展開してしていこうと考えております。
M01006	看護教育学特講Ⅵ	佐々木 幾美	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。この授業では、後半にカリキュラム作成をしています、カリキュラム開発の実践が経験できてよかった、実際に学校づくりを行って理論と結びつけることができたという意見をいただきました。開講曜日は時間割全体の関係がありますので、すぐに対応できませんが、今後検討します。グループワークの時間についてはもう少し配慮した上で、次年度も同様の内容で展開していこうと考えております。
M01102	看護管理学特講Ⅱ	古川 祐子	受講生が少ないため、1名の結果が受講率に大きく反映されるが、得点が高かった。非常勤講師の丁寧な授業と、レポートへのコメントを詳細に返すよう努めたことが評価につながったと思われる。
M01106	病院管理論	古川 祐子	受講生が少ないため、1名の結果が受講率に大きく反映されるが、得点が高かった。非常勤講師の丁寧な授業と、レポートへのコメントを詳細に返すよう努めたことが評価につながったと思われる。ただ、コロナ禍の影響で、実地の病院見学が行えず、リモートでの見学会にせざるを得なかった。学生からは実地見学の要望が高いため、次年度の実地見学の際には参加を促したい。
M01216	災害看護学特講Ⅱ	内木 美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。災害現場は、医療現場より複雑で、多くのステークホルダーが関わり、被災者の健康レベルもまちまちです。現場では、様々な倫理課題に直面すると思いますが、被災者をこれ以上傷つけないよう、尊厳が守られる生活環境と支援についてこれからも検討していきます。
M01218	災害看護学特講Ⅳ	内木 美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。法律を活用したさらなる支援や災害看護ご検討できるよう、授業改善を行っていきます。
M01314	英語講読Ⅱ	川崎 修一	過分な評価をありがとうございます。頂いたコメントを授業改善に活かします。
M01316	看護科学特講	筒井 真優美	ポジティブフィードバックをありがとうございました。元気がでます。院生はとても積極的で今後の活躍が楽しみです。前向きに、物事を大きくとらえてくださればと思います。
M01319	情報科学特講	川崎 洋平	学部の授業とは異なり、臨機応変に学生さんが興味を持つような授業構成を考えていきたいと思います。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
M01325	医療と法	廣瀬 美佳	2022年度の本科目については、担当教員である廣瀬が、貴学ではもちろん、医学系の大学で授業を持つこと自体が初めてであったこともあり、（アンケートでのコメントにもありましたが）完全に手探り状態であった上、途中で体調を崩したこともあって、多大なる御迷惑をおかけすることになってしまったことを、まずはお詫び申し上げます。そうであるにも拘わらず、履修者の皆様が、御自身が調べてみたい事例を自ら見付けてくるなど、積極的かつ自主的に授業に取り組んで下さった御蔭で、看護師の皆様が、医療をめぐる法に関し、どのような問題意識を持っておられるか等がわかり、次年度以降の授業の指針が得られたというか、方向性が見えてきたように感じています。その意味でも一履修者が変わりますので、その方達に合わせた授業を構築する必要はありますが一大変有意義な経験をさせて戴いたと、心より感謝申し上げます。半期御付き合い戴き、ありがとうございました。
M01328/N00305	看護理論/看護理論	川原 由佳里	実践の基礎となる理論を学んでいます。理論というものの性質や限界を理解した上で、書かれている内容を理解すること、自身の実践経験と関連付けて考えることを進めています。様々な領域の院生とグループワークができることも、大きな学びになったようでした。
M01330	コンサルテーション論	古城門 靖子	ご意見をいただきありがとうございました。コンサルテーション論について多面的に学べたとのことご意見をいただきました。今後も非常勤講師の先生方にもご協力いただき、継続していきたいと思います。また、グループワークをより充実させてほしいとのことご意見をいただきました。今後検討していきたいと思います。最後に、対面授業と遠隔授業のハイブリッドでの開催に関して、ご意見をいただきました。対面授業でしかできない授業があることに、十分な説明がなかったとのこと指摘でした。オリエンテーションがオンデマンドとなってしまう、十分な説明ができなかったこと、シラバスに明確に記載できていなかったことなどが原因であるかと思います。次年度のシラバスには記載し、なおかつ科目によって扱う個人情報の質が違う点など丁寧に説明し、理解を深めていただけるようにしていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。
M01331	看護倫理	吉田 みつ子	受講された皆さんが安心して、自由に意見を述べ、ディスカッションされおり、私自身もとても学びになりました。リモート受講の方には、音声の不具合があったり、意見交換の声が届いていなかったこともあったというご意見を頂きました。引き続き、学習環境を整えてまいりたいと思います。
M01332	看護政策論	安部 陽子	コメントをいただきありがとうございます。グループ分けは毎年の課題なのですが、多様な方々との議論が大事という考え方の下、専攻を混ぜて構成しています。来年度もまたグループ分けについては、履修者の方の意見を踏まえつつ、検討させていただきます。
M01335	臨床薬理学	石田 耕太	薬理学は看護師さんにとって潜在的に苦手意識があるようですので、少しでも興味をもてるような授業を行いたいともいます。PCトラブルのためスムーズに授業が開始できなかったことが、申し訳なかったと思います。教室のPCのID、PWが分からないため、PC電源を入れるのみでは対応ができず、何度か事務の方にもご迷惑をかけてしまいました。予め登録された個人のPCが使用できれば、授業がし易いです。
N00102	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション研究論	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。英語論文のクリティークを行ったことで、苦手意識も軽減され学びを深めることができたようでうれしく思います。今回の学びをぜひ修士論文作成に活かしてください。
N00103	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション活動論	井村 真澄	この科目では、助産実践に必須の両輪：EBM,NBMのうち、特にEBMについて詳細に学ぶことができました。最初にRCTを学び、次にRCTを集めたコクランのシステマティックレビュー、統計解析したメタアナリシス、さらに、臨床ガイドライン作成プロセスも学びました。最初は大変と思っていた気持ちですが、新しいことを覚えていく楽しさに変わっていったことと思います。皆さんがここで学んだことにさらに磨きをかけ、実践現場で活用し、良質な助産ケアを提供してくださることを大いに期待しています。
N00202	国際保健助産論Ⅱ	齋藤 英子	皆さんの計画実施した素晴らしいプレゼンテーションとミニ思春期教室の模擬開催により、大変実り多い時間となりました。今回得た学び・調べ方・伝え方等を今後に活かしていきましょう。ありがとうございました。

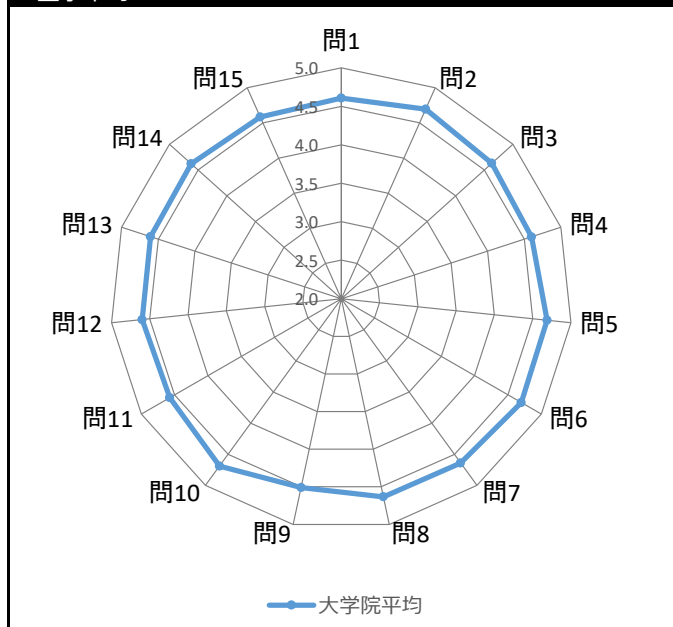
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
N00203	国際保健助産論Ⅲ	井村 真澄	皆さんが良く学修してくださり、大変うれしく思います。学んだことを今後の活動にぜひ活かしていただけたらと思います。
N00306	看護政策論	安部 陽子	コメントをいただきありがとうございます。来年度も参加型の授業を企画していきたいと考えています。
N00404	基礎助産学特講Ⅱ-2	小林 丈人	アンケートの回答ありがとうございました。リモート講義における進行やディスカッションの場などの問題点については、より一層の工夫や努力をし、来年度の講義に生かせるようにしていきたいと思います。
N00463	地域母子保健Ⅰ	稲田 千晴	助産師が多様な人々が暮らす地域で活動するときに必要な知識や技術、態度を学ぶ科目ということもあり学修範囲が広い上に、現状に対していつもアンテナを持ち続けなければいけないという難しい内容だったと思います。そのような中でも学生の皆さんの積極的な参加で、大変有意義な授業が展開されたと思います。教員としては、地域で過ごす母子の生活や現場のリアル感を理論を裏付けながら学んでいただけるよう工夫をいたしましたが、学生の皆様のニーズに応えることができていたようですので、この点は今後の授業改善に活かしていきたいと思います。本科目は社会のニーズはますます高くなり、学修項目が増えていますので、学生さんのニーズと、必要な学修内容を吟味しながら授業設計を行っていききたいと思います。

大学院		履修者数	69	回答率	
		紙	61	88%	88%
		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	38				22		4.61
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	41				18	2	4.69
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	39				20		4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	37				22		4.60
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	43				17		4.69
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	43				16		4.70
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	40				20		4.64
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	41				16	3	4.63
9	演習の時間配分は適切だった。	37				18	6	4.51
10	教員の熱意が伝わってきた。	44				15	2	4.69
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	40				16	5	4.57
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	38				20	2	4.60
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	39				20	2	4.61
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	40				19	2	4.62
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	37				21	2	4.58
問1～15全問平均								4.63

■全学平均

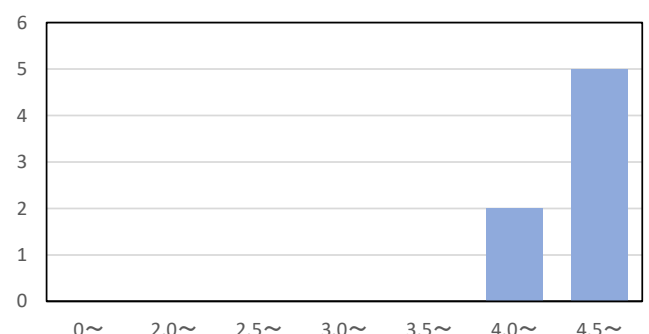


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布



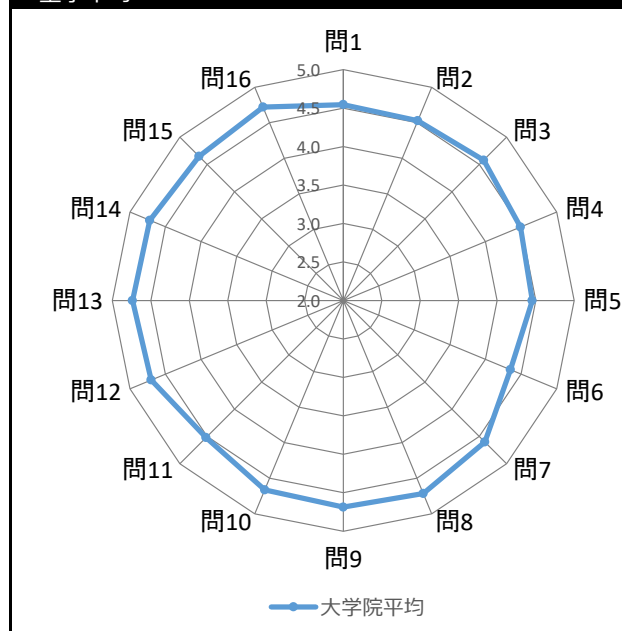
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
N00151	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション演習Ⅰ	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。多数の教員や上級生とのゼミ形式での研究課題の検討が学習にとって効果的であったようで良かったです。引き続き頑張ってください。
N00152	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション演習Ⅱ	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。ゼミ形式での課題検討と個別でのゼミとを組み合わせたことで内容の充実につながったようで良かったです。その分、勤務との調整が難しくなった日程があったようなので、早めに調整を進めていきたいと思います。
N00252	国際保健助産演習Ⅱ	新田 真弓・ 加藤 千穂	アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度はカンボジアへの渡航ができませんでしたが、実際に国際支援活動を経験された方の特別講義、TSMCとのWeb交流が実現し、少しでも皆さんの関心が深められていたら嬉しいです。2023年度は渡航できることになりましたが、学内での演習内容もさらに充実させられるように工夫していきたいと思います。貴重なご意見をありがとうございました。
N00272	リプロダクティブ・ヘルスケア演習Ⅱ	齋藤 英子	ご意見ありがとうございました。次年度に活かしていきたいと思います。
N00451	実践助産学演習Ⅰ	齋藤 英子	ご意見ありがとうございました。数年ぶりの対面での両親学級開催でしたが、多くの経験ができて嬉しく思います。いただいたご意見は今後に活かしていきたいと思います。ただ、この科目は、両親学級開催だけが目的ではなく、健康論や教育論・学習理論を基盤として、コミュニケーションスキルを磨き、実践力を高める単元です。その点は、今後各自で更に磨かれていくことを期待します。
N00455	実践助産学演習Ⅴ	齋藤 英子	比較的良い評価をいただきありがとうございました。ご意見いただきましたフラッグは、Ⅳ担当の教員とも話し合いまして、今後、実践Ⅴの方では使わないことにいたしました。Ⅴではケース検討を一層深めていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。

大学院		履修者数	69	回答率	
		回答数	紙	57	83%
		WEB	0	0%	83%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	36				18	2	4.54
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	36				18	3	4.53
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	38				16	2	4.58
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	35				18	3	4.49
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	36				15	3 2	4.46
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	32				13	7 2 3	4.35
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	37				15	2 2	4.60
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	38				15	3	4.72
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	38				15	2	4.69
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	36				18	2	4.67
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	35				13	5 2	4.52
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	41				15		4.70
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	43				13		4.74
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	43				12	2	4.72
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	40				14	3	4.65
16	学生は、体調管理に努めた。	43				12	2	4.72
問1～16全問平均								4.60

■全学平均

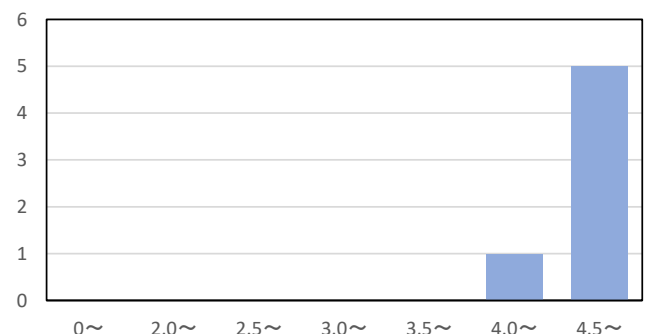


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
N00161	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション実習Ⅰ	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。実習準備、取り組み、まとめなど、各時期で主体的に学べたようで良かったです。また、受け入れ施設での充実した実習体験だったようですので、ぜひ修士論文に活かしてください。
N00162	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション実習Ⅱ	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。研究のためのフィールドワークが充実したものとなったようで良かったです。
N00282	リプロダクティブ・ヘルスケア実習Ⅱ	齋藤 英子	ご意見ありがとうございました。次年度に活かしていきたいと思います。
N00471	助産学実習Ⅰ	新田 真弓・ 齋藤 英子	ご意見ありがとうございました。ご指摘いただいた、教員間の共有、OSCEの活用、分娩室における受け持ち開始については、教員・臨床側と話し合いを重ねながら、改善策を練って次へ活かしていきたいと思います。
N00474	助産学実習Ⅳ	新田 真弓・ 齋藤 英子	色々なご意見をお寄せいただきありがとうございます。今後、臨床との調整を十分に行っていききたいと思います。公欠は欠席日数としてカウントされていません。十分な学習・習得経験の機会が得られず、本来到達すべき目標へ至らなかった場合には、補習の機会を公平に担保しています。ご意見を活かして今後は進めていききたいと思います。
N00475	助産学実習Ⅴ	新田 真弓・ 稲田 千晴	皆様よく学修をしてくださったようで、大変うれしく思います。今後も対象の状況や実習の状況を踏まえて、良い学修ができるよう、実習施設ともよくコミュニケーションをとっていくようにいたします。